

# 夜の二橋、学びの最先端

**企業の精鋭たちは、  
何を求めて都心のキャンパスに通うのか**

一橋大学大学院国際企業戦略研究科 (International Corporate Strategy: -ICS)

「経営法務コース」、「金融戦略・経営財務コース」には、

企業の最前線で活躍中の社会人学生が集まっている。

しかし、活躍中の精鋭だからこそ、平日の夜間に大学院に通うことは決して容易ではない。

むしろ負担と言えるだろう。それでも彼ら・彼女らが通い続けるのはなぜか。

そこには最先端の研究があり、有益なネットワークがあり、

そこでつねに自分を高めたいという強い意志があるからだ。

## 理論と実践が高いレベルで融合した 二つの社会人対象コース

一橋大学大学院国際企業戦略研究科（以下一橋ICS）は、一橋大学の六つ目の大学院研究科として、東京・大手町地区付近の千代田キャンパス（学術総合センター内）に設置されている。2000年にスタートした三つのコースのうち、企業等で働く社会人を主な対象としているのが、今回紹介する2コース、「経営法務コース」と「金融戦略・経営財務コース」だ。

「経営法務コース」は、高度で実務的な法学教育を行うという目的のもと、会社法、経済法、知的財産法、金融法、労働法、租税法など、「ビジネス・ロー」に特化した数々の科目が用意された社会人向け大学院だ。

「金融戦略・経営財務コース」は、ビジネスの現場で活用できる金融の知識と技術を有する人材の育成を目指し、「計量ファイナンス系」と「経営財務系」の2分野を有するMBAコースがあり、学習目的に応じて学ぶことができる。

ともに2年間の修士課程に加え、博士課程も有している。「2年間で集中的に学んだことをすぐにビジネスの現場で使いたい」「より深く学ぶことによって専門職への道を拓きたい」等、さまざまな志向に応えることができる。

また両コースとも、各科目における最先端の理論の研究者や、豊富な経験を持った——あるいは現在も活躍中の——実務のプロフェッショナルが教員として密接に協力し合いながら、ビジネスに活用できる実践的な「学び」を提供している。

いわば「理論と実践のインテグレーション」が、ここにはある。



## ビジネスの中心地で、平日夜間・ 2コマにわたって行われる授業

授業時間帯は、月曜日から金曜日の18時20分～19時50分/20時～21時30分という2コマで行われる。ビジネスの中心地である東京・大手町や丸の内には近い好立地のもと、意欲溢れる社会人学生をキャンパスに迎え、平日夜間の大学院として最先端の知識・技術を提供している。

## さまざまな志望動機・ バックグラウンドを持った 社会人学生が集まる空間

一橋ICSに通う社会人学生の志望動機やバックグラウンドはさまざまだ。

「経営法務コース」では、数のうえで企業法の法務部門等に所属している学生が多いが、企業で企画部門に携わる人、公務員、新聞記者など多士済済である。一橋ICS修了生として、法律の分野に軸足を置きながら事業戦略・経営戦略に携わる人も増えてきている。ビジネスに直結した法律を体系的に学び、より俯瞰したポジションで活躍したい向きには最適な環境と言える。また、弁護士・弁理士など、法律のプロフェッショナルが自らの専門性をさらに磨くために通っている。

「金融戦略・経営財務コース」の場合、たとえば金融戦略については、現在金融商品の開発に直接携わっている人ももちろん、定量データの分析等数学的バックグラウンドを有する人にとって、体系的で厳密なファイナンスのフレームワークを短期間に徹底的に習得することで、今後変化していく金融市場に対応できる知的能力を磨く絶好の機会となる。

## 最先端の理論、人的交流など、 社会人ならではの大きなメリット

次頁以降で紹介する修了生には、一橋ICSで学ぶメリットを、それぞれの経験をもとに率直に語っていただいている。

まず全員が挙げているのが、最先端の理論について各分野の教員（研究者及び実務家）から学べることだ。「経営法務コース」であればビジネス・ローをベースとした知財戦略やグローバル・ビジネス・ロー等、「金融戦略・経営財務コース」であればファイナンス理論や財務戦略等を、古色蒼然とした抽象論ではなく、つねにアップデートされた戦術の形で吸収することができる。なお、両コースの科目はお互いに選択できるので、在籍するコースで専門的に学びながら、同時に総合的に学び、新しい知見を得ることも可能だ。

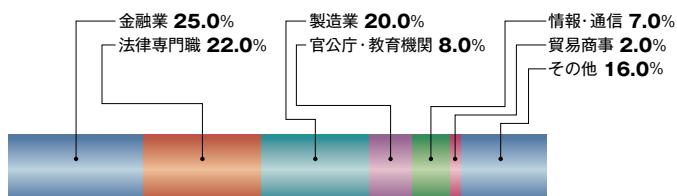
また、修士論文の存在も大きい。教員に貴重なアドバイスを仰ぎながら、自らの論理的思考力をブラッシュアップするうえで最適なプログラムだったと、修了生は口を揃えて語る。

最後に、人的ネットワークの構築という側面も見逃せない。さまざまな分野で経験を積み、キャリアを築いてきた社会人学生が机を並べて学習し、ゼミでは意見を戦わせる。そんな2年間を過ごすことによって、学生同士、そして学生と教員の間にも新しい関係が生まれ、修了後は公私両面にわたるネットワークが起動する。

働きながら大学院に通うことは、決して簡単なことではない。しかし、だからこそ得られるものも大きい。それを自覚する社会人学生が、今夜も「夜の二橋」に通い続ける。

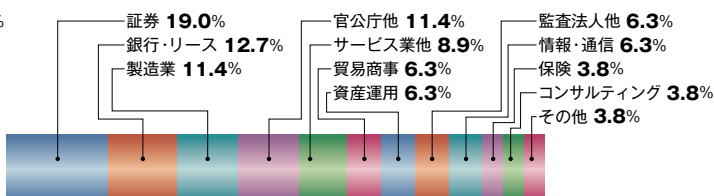
### 大学院入学時の学生の業種

#### ◆経営法務コース



※過去5年間のデータ（2014年3月現在）

#### ◆金融戦略・経営財務コース



※過去2年間のデータ（2015年6月現在）